

□■感染症情報(H29年第28週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
□■

●トピックス

◆手足口病の増加について(県)

銚田保健所管内において、1定点あたり第27週及び第28週の報告はありませんでした。

県において、1定点あたりの報告数は、第27週0.57(国5.74)、第28週1.68(国8.27)となり、増加傾向が続いています。また、全国においても急増しており、夏季に流行する感染症であるため、今後県内においてもさらに増加する可能性があるため注意が必要です。

【西日本を中心に手足口病が流行しています(県)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/201707hfmd.html>

【手足口病(県)】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/teasi_1.pdf

◆ヘルパンギーナの増加について

銚田保健所管内において、1定点あたり第27週0.33、第28週の報告はありませんでした。

県において、1定点あたりの報告数は、第27週0.43(国1.50)、第28週0.66(国2.24)となり、増加傾向が続いています。

また、全国においても増加しており、注意が必要です。

ヘルパンギーナとは：発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性の咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。

【ヘルパンギーナ（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/herupan_1.pdf

【ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

◆県内における「腸管出血性大腸菌感染症」の発生について

茨城県内において、第28週腸管出血性大腸菌感染症の発生が2件ありました。（第27週は、1件の発生あり）

腸管出血性大腸菌感染症は、夏季に発生の多い感染症であり、現在県内で報告が増加しているため、注意が必要です。

潜伏期間：おおよそ3～5日

症 状：腹痛・下痢・血便など

合併症：乳幼児や高齢者が感染すると、溶血性尿毒症症候群（HUS）等により重症化することがある

<予防のポイント>

調理・食事前、トイレの後に石けんと流水で十分に手を洗う

食品が生肉と接触するのを避ける

食品を十分加熱する

調理後の食品はなるべく食べきる 等

【H29年腸管出血性大腸菌感染症発生状況（茨城県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/sokuho/03tyoukanh.html>

【腸管出血性大腸菌感染症とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ta/ehec.html>

◆県内における「レジオネラ症」の発生について

茨城県内において、第28週レジオネラ症の発生が3件ありました。

現在県内で報告が増加しているため、注意が必要です。

○潜伏期間と症状

①レジオネラ肺炎

潜伏期間：2～10日

症状：全身倦怠感，筋肉痛，頭痛，高熱
腹痛，嘔吐，意識障害等

②ポンティアック熱

潜伏期間：1～2日

症状：発熱，悪寒，頭痛などのインフルエンザ様症状等

○予防方法

- ・ 感染源となる冷却塔などの設備や器具を定期的に点検，清掃，消毒を行い，ヌメリが発生しないようにする。
- ・ 家庭のお風呂では，毎日をお湯を入れ換え，浴槽の清掃を行う等清潔に保つ。
- ・ 加湿器の水はこまめに取り換え，水道水など衛生的な水を使用する。また，定期的にノズルの清掃やタンクの洗浄を行い，加湿器を使用しない期間は水を抜いてきれいにしておく。

【レジオネラ症について（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/2016081egionellosis.html>

【レジオネラ症とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ra/legionella/392-encyclopedia/530-legionella.html>

- ◆ 「日本におけるオウム病症例発生状況と妊娠女性におけるオウム病について（情報提供）」（H29年7月12日）

国立感染症研究所が標記について、情報をとりまとめましたので、情報提供いたします。

【事務連絡（都道府県宛て）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20170710jimurenaku_1.pdf

【別紙】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20170710besshi.pdf>

- ◆ 「ダニ媒介感染症に係る注意喚起について」（H29年7月11日）

ダニ媒介脳炎や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）を含むダニ媒介感染症に関しては、ダニに咬まれない予防措置を講じるとともに、もし発症した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けて頂きますようお願いいたします。

○予防方法

- ・ マダニに咬まれないようにする。
（長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくする）
- ・ 屋外活動後は、すぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認する。

○マダニに咬まれたら

マダニは体部をつまんで引っ張ると口器がちぎれて皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりする恐れがあるので、医療機関（皮膚科等）で処置（マダニの除去、洗浄等）をしてもらう。

【事務連絡（都道府県宛て）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20170711jimurenraku.pdf>

【[別紙]マダニが媒介する感染症の予防について】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20170711bessi.pdf>

◆「ヒアりに刺された場合の留意事項について」（H29年6月23日）

ヒアリは、極めて攻撃性が強いとされており、刺された際には、アルカロイド毒により、熱感を伴う非常に激しい痛みを覚え、水疱状に腫れ、その後、膿が出る。

さらに毒に含まれる成分に対してアレルギー反応を引き起こす例があり、局所的、または全身にかゆみを伴う発疹（じんましん）が出現する場合がある。欧米においては、アナフィラキシー症例も報告されている。

ヒアリの毒には、アルカロイド毒であるゾレノプシンのほか、ハチ毒との共通成分であるホスホリパーゼやヒアルロニダーゼなどが含まれている。そのため、ヒアりに刺された経験が無くてもハチ毒アレルギーを持つ方は特に注意が必要である。

ヒアりに刺された方がアナフィラキシー症状を引き起こした場合、アドレナリンを注射するなどの適切な救急処置をとる必要がある。

【ヒアりに刺された場合の留意事項について

(都道府県宛て) H29 年 6 月 23 日】

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000171502.pdf>

【ヒアリに関する対応について (H29 年 7 月 19 日)】

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000171840.pdf>

【ヒアリに刺された場合の留意事項について (一般の方向け)】

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000171750.pdf>

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

(第 28 週 7 月 10 日～7 月 16 日) (2017 年第 28 週までの報告数累計)

結核 9 件 (銚田 1 件, 他 8 件) 県 265 件, 全国 11896 件

腸管出血性

大腸菌感染症 2 件 (竜ヶ崎・古河) 県 11 件, 全国 932 件

レジオネラ症 3 件 県 27 件, 全国 763 件
(ひたちなか・土浦・常総)

♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—♪—
—♪

今回の配信メール (H29 年第 28 週) が 200 通目となりました。

いつも御覧いただき, ありがとうございます。

今後も業務の参考にさせていただければ幸いです。

♪-♪
-♪

★ 当メールの内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

茨城県銚田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp [TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

*****鹿行地域感染等対策ネットワーク

【事務局】

土浦協同病院		
なめがた地域医療センター		茨城県銚田保健所
〒311-3516		〒311-1517
行方市井上藤井 98-8		銚田市銚田 1367-3
TEL:0299-56-0600		TEL:0291-33-2158
FAX:0299-374111		FAX:0291-33-3136
